

ニプロアイセット (ニプロキャリカポンプ用)

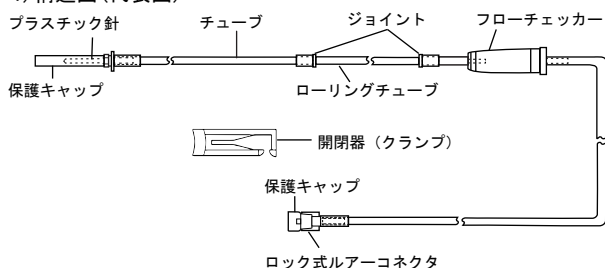
再使用禁止

【禁忌・禁止】

1. 使用方法
- 1) 再使用禁止

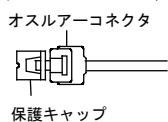
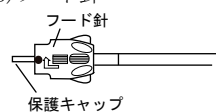
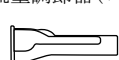
【形状・構造及び原理等】**1. 形状・構造（代表図）**

本品は、プラスチック針、チューブ、ジョイント、ローリングチューブ、フローチェッカー、ロック式ルアーコネクタ、開閉器（クランプ）等から構成されている。

1) 構造図（代表図）**2) その他の構成部品**

下記の構成部品が付く仕様もある。

- (1) オスルアーコネクタ (2) メスルアーコネクタ

**(3) フード針****(4) 流量調節器（ローラークランプ）****2. 材質**

プラスチック針 ジョイント フローチェッカー	アクリロニトリル-ブタジエンスチレン共重合体
チューブ	ポリ塩化ビニル
ローリングチューブ	シリコーンゴム
ロック式ルアーコネクタ メスルアーコネクタ オスルアーコネクタ	ポリカーボネート、又はポリプロピレン
フード針	ステンレス鋼 ポリ塩化ビニル

ポリ塩化ビニルの可塑剤はトリメリット酸トリ-2-エチルヘキシルである。

【使用目的又は効果】

注射筒を使用しないで、多量の注射用医薬品を注入する目的で使用する。輸液操作の利便性のため、必要な機器をあらかじめ接続して組合せたものもある。

【使用方法等】**1. 使用方法**

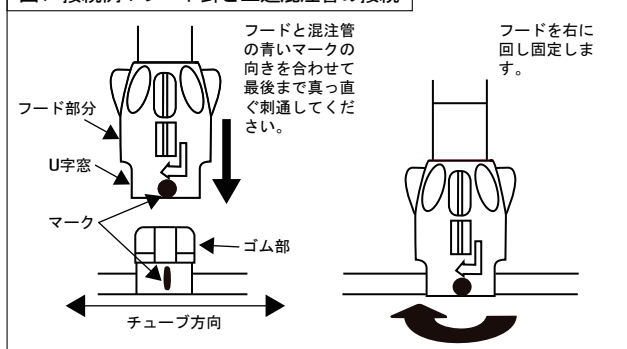
- 1) 包装を開封し、本品を取り出します。
- 2) プラスチック針と接続しているチューブを流量調節器（ローラークランプ）、又は開閉器（クランプ）で完全に閉じてから、プラスチック針の保護キャップを外します。
- 3) 輸液容器のゴム栓の○印中央部に真っ直ぐいっぱいの深さまでプラスチック針を刺通し、本品を接続します。
- 4) 本品を接続した輸液容器をスタンド等に吊るし、流量調節器（ローラークランプ）を徐々に緩めるか開閉器（クランプ）を取り外し、本品に薬液を満たし、プライミングを行います。ただし、フローチェッカー内には転倒しても流出しない空気が残ります。

- 5) 本品先端まで薬液が完全に満たされたことを確認した後、流量調節器（ローラークランプ）、又は開閉器（クランプ）でチューブを閉じて、併用する輸液ポンプの使用方法に従って、本品を輸液ポンプにセットします。
- 6) 流量調節器（ローラークランプ）及び開閉器（クランプ）を全開にし、輸液ポンプの注入量が正しく設定されていることを確認します。
- 7) 本品を輸液セット、カテーテル等と接続し、全ての流量調節器（ローラークランプ）及び開閉器（クランプ）が全開になっていることを確認したら、輸液ポンプを作動させ輸液を開始します。
- 8) 使用後は廃棄します。

2. フード針とロック付きゴムボタン式プラグ（三連混注管、混注Y字管、ニプロインジェクションプラグ）の接続方法

- 1) フード部分とロック付きゴムボタン式プラグの青いマークの向きを合わせて、フード針の針管をロック付きゴムボタン式プラグのゴム部の中心付近に真っ直ぐ刺通します。この時、2つの青いマークが重なります（図1参照）。
- 2) フード部分を右に回し固定します。この時、2つの青いマークが分かれて見えます（図1参照）。
- 3) フード部分の回転が完全に止まるところまで接続したことを確認します（図1参照）。

図1 接続例：フード針と三連混注管の接続

**3. 組み合わせて使用する医療機器**

下表に記載の輸液ポンプは本品への適用が可能です。下表以外の輸液ポンプを使用する場合は輸液ポンプのメーカーに適用の可否を確認します。

表1 適用可能な輸液ポンプ

販売名	承認番号
ニプロキャリカポンプ CP-330	21400BZZ00535000

<使用方法等に関連する使用上の注意>

1. 汚染を防ぐために、プラスチック針やルアーコネクタの接合部等の薬液に接触する部分には直接手を触れないでください。
2. チューブとルアーコネクタ等の接合部には過度に引っ張る、押し込む、折り曲げるような負荷をかけないように注意してください。[チューブ抜け、破損、伸び等のおそれがあります。]
3. チューブと硬質部材（フード針等）との接合部付近で流量調節器（ローラークランプ）及び開閉器（クランプ）を操作しないでください。[チューブが噛みこまれ、破損のおそれがあります。]
4. 誤って手指等にプラスチック針やフード針の針管を刺さないよう取扱いには十分注意してください。
5. 輸液容器にプラスチック針を刺通する際、プラスチック針を斜めに刺通しないでください。[液漏れやプラスチック針破損のおそれがあります。]

6. プラスチック針やフード針の針管をリキャップしないでください。[リキャップ自体に誤穿刺のおそれがあり、また、誤って斜めにリキャップすることで、針先が保護キャップを貫通するおそれがあります。]
7. カテーテル等との接続の際には、無菌的管理を徹底してください。
8. 輸液ポンプを使用する際は、輸液ポンプは必ずローリングチューブに取り付けてください。[送液不良や注入量の過剰投与のおそれがあります。]
9. フード針の使用上の注意
 - 1) フード針の接続にはロック付きゴムボタン式プラグ（ニプロインジェクションプラグ等）を使用してください。
 - 2) フード針を斜めに刺通してロックすると、ゴム部の内部で針の向きが矯正され、針とゴムの間に隙間が生じ、接続部からの液漏れのおそれがあります。
 - 3) 透明のフード針カバーを持ってロックすると空回りするので注意してください。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 使用中は本品の破損、接合部の緩み及び薬液漏れ等について、定期的に確認すること。
- 2) 脂肪乳剤及び脂肪乳剤を含む医薬品、ヒマシ油等の油性成分、界面活性剤又はアルコール等の溶解補助剤などを含む医薬品を投与する場合及びアルコールを含む消毒剤を使用する場合は、三方活栓及びコネクタのひび割れについて注意すること。[薬液により三方活栓及び延長チューブ等のメスコネクタにひび割れが生じ、血液及び薬液漏れ、空気混入等の可能性がある。特に、全身麻酔剤、昇圧剤、抗悪性腫瘍剤及び免疫抑制剤等の投与では、必要な投与量が確保されず患者への重篤な影響が生じる可能性がある。なお、ライン交換時の締め直し、過度な締め付け及び増し締め等は、ひび割れの発生を助長する要因となる。]
- 3) ひび割れが確認された場合は、直ちに新しい製品と交換すること。
- 4) チューブから混注しないこと。
- 5) 200kPaを超える圧力条件で使用しないこと。[液漏れ、破損のおそれがある。] なお、包装表示に耐圧に関する記載がある場合には、その指示に従うこと。
- 6) チューブが変形した状態で使用しないこと。また、薬液を高圧で注入しないこと。
- 7) ロック式ルアーコネクタは、接続の際にロックがしっかりと締まっていることを確認すること。
- 8) コネクタ等の接続部品は、鉗子等の器具を用いた過度な締め付けを行わないこと。
- 9) 本品のフード針は「ニプロフードコネクターシステム」には接続できない。

2. 不具合・有害事象

1) その他の不具合

- (1) 本品の破損
- (2) 接続部の外れ
- (3) 液漏れ
- (4) 空気混入
- (5) 誤穿刺

2) その他の有害事象

- (1) 細菌による感染症
- (2) 指先の損傷

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

水ぬれに注意し、直射日光、高温多湿を避けて保管すること。

2. 有効期間

包装の使用期限を参照のこと。

有効期間：滅菌後3年 [自己認証（自社データ）による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売（お問い合わせ先）

ニプロ株式会社

フリーダイヤル：0120-226-410

受付時間：9:00～17:15（土・日・祝日を除く）

製造

ニプロ医工株式会社



ニプロ株式会社